

J PFP 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.85 August 2019

タンザニアでICPD+25に向けたアフリカ・アジア人口開発議員会議・視察事業を実施

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局を務める（公財）アジア人口・開発協会（APDA）は、タンザニア人口・開発議連（TPAPD）のホスト、国連人口基金（UNFPA）、日本信託基金（JTF）並びに国際家族計画連盟（IPPF）の後援のもと、8月5～8日にタンザニア国ダルエスサラーム市・ザンジバル島で「ICPD+25に向けたアフリカ-アジア人口・開発議員会議・視察事業」を実施しました。

本事業には、18カ国¹から国会議員、国内委員会事務局、UNFPA および協力団体代表、政府高官、国会職員ら総勢約70名が参集し、国際人口開発会議（ICPD）から25年の進捗を踏まえ、その未達成の課題に対する国会議員としての取り組みを議論の中心に据え、11月のICPD25周年ナイロビ・サミットに向けた意見集約を行いました。開会式では、ジョブ・ンドウガイ タンザニア国会議長、ジャマル・カシム TPAPD 議長、また後藤真一 駐タンザニア連合共和国特命全権大使が挨拶を行い、日本から参加した長浜博行 JPFP 副会長は、JPFP を代表して閉会挨拶を述べました。



1994年にカイロで開催されたICPDは、それまでの統計的な数値目標として人口を捉えるマクロ（国レベル）の視点から、一人ひとりの権利と健康の保障というミクロ（個人レベル）の視点へと、人口問題に対する考え方を大きく「パラダイムシフト」させました。それから25年間、欧州を中心に、人口分野はこのリプロダクティブ・ライツ（RR）が強調されてきましたが、場合によっては押し付けと取られたり、保守派のいわゆるプロライフ派の攻勢も強まるなど、分断が拡大しました。実際、政府間協議である人口開発委員会（CPD）では、欧州を中心とする先進国と途上国の間で合意ができず、留保の状態が続いていました。

国会議員活動の面から言えば、ICPDに先駆けてカイロで開催され、ICPDの理念形成に大きな貢献を果たした国際人口開発議員会議（ICPPD）では、RRは採用されませんでした。その理由として、国会議員が各文化や宗教、価値観の代表者である以上、価値観に関わる議論ではなく、その条件の構築に尽力すべきであるという判断があったからです。

そこで、今回の会議を通じ、①社会の主体は人間＝人口であること、②持続可能な開発の目的は、人間が尊厳を持って生きることのできる社会を構築することであり、ICPDと持続可能な開発目標（SDGs）の目的は同一であること、③従ってICPDの未完の課題の達成なくして、SDGsは達成しえないこと、④さらに、人口問題に焦点を当てた場合、その中心的な課題は出生転換であり、途上国・先進国ともに適切



¹ジブチ、ガーナ、インド、日本、ケニア、ラオス、リベリア、マラウイ、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シエラレオネ、ソマリア、タンザニア、タイ、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ

な水準の出生率を維持することが SDGs の達成において不可欠であること、⑤途上国の望まない妊娠による人口増加も、先進国の極端な少子化も、ICPD で定義された RR を実現できていない状況であり、UNFPA を中心とした国際機関とも連携し、国民の代表である国会議員が適切な環境・社会・経済政策および立法を整備することで、RR を実現に向けての必要があること、を明確に打ち出しました。

8月5～6日の会議に続き、7～8日の視察事業では、ダルエスサラーム市の地区病院とタンザニア大学人口研究所を訪問しました。ザンジバルでは、人口問題に取り組む15団体の代表を招き、人口・家族計画に関して直面している課題について活発な意見交換を行いました。

また9日には、地元メディアや関係者に向けた記者会見が行われ、採択された宣言文とともに、人口・開発問題の重要性と、国会議員活動の意義が紹介されました。



バックナンバーはこちらからご覧いただけます ☞ <http://www.apda.jp/topics.html>



国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
（公財）アジア人口・開発協会（APDA）

TEL: 03-5405-8844

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。